

2 公共交通マップの作成

「公共交通トータルデザインの実施方針（新たなサイン計画の展開イメージ等）」に基づき、新たな公共交通マップを作成した。掲載する公共交通は、鉄道、路線バス、路面電車、生活交通（御津建部コミュニティバス、足守地区生活バス、デマンド型乗合タクシー）とした。

2.1.作業方針の検討

（1）事例収集

公共交通マップ作成にあたって、優良事例を収集した。収集した事例は以下のとおり。

省略

（2）地図タイプの検討

各地域の公共交通マップは、地形地物をベースに作成した「地図ベース」タイプと実際の地図を簡素化した「デフォルメ」タイプに大別できる。

各タイプのメリットとデメリットを以下のとおり整理した。

1）地図ベース

【メリット】

- ・ 地理的な正確さがあるため、土地勘のある市民や来訪者にとって理解しやすい
→ 実際の移動距離や方角が分かり、迷いにくい
- ・ 施設配置や距離感の把握が可能
→ 「駅から病院までこのくらい距離がある」といった情報が伝わる
- ・ 観光用途との親和性が高い
→ 観光案内やマップと統合しやすい
- ・ 修正・追加等が容易

【デメリット】

- ・ 路線が入り組む場合、視認性が低く、複雑に見えてしまう
- ・ 停留所名や経路表記が混雑して見づらくなる場合がある
- ・ 低密度地域では空白が多くなり、情報量のバランスが難しい

2）デフォルメ

【メリット】

- ・ 構造が簡潔で理解しやすい

- 路線の流れ、乗換ポイントが一目で分かる（鉄道路線図と同様）
- ・ 停留所名の表示がしやすい
- ・ デザイン性が高く、広報向き
- パンフレットやWeb、車内掲示に向く
- ・ 乗降バス停名・駅名が分かっている場合に系統を理解しやすい

【デメリット】

- ・ 実際の距離感・位置関係が伝わりにくい
- ・ 土地勘が無い利用者にとっては地理的理解に繋がりにくい
- ・ 施設や地形情報が減るため、目的地との関係が曖昧になりやすい
- ・ 経路を別マップで調べる必要がある

（3）研究結果に基づく検討

バス路線図の利用者理解を深めるための研究の一つとして、小谷、三谷、坂本（2022）の『路線網の複雑さに基づくバス路線図のタイプ分類とその評価に関する研究』¹がある。この研究では、路線網の特性に応じた図式の有効性が論じられており、以下の知見が提示されている。

すなわち、広い範囲を対象とし地理的な位置関係の把握が重要な場合には、地図ベースの図式が利用者の理解に寄与する。一方で、中心市街地のように路線が密集し複雑になるエリアでは、デフォルメ図の方が路線構造や乗継関係が直感的に把握しやすくなるという。

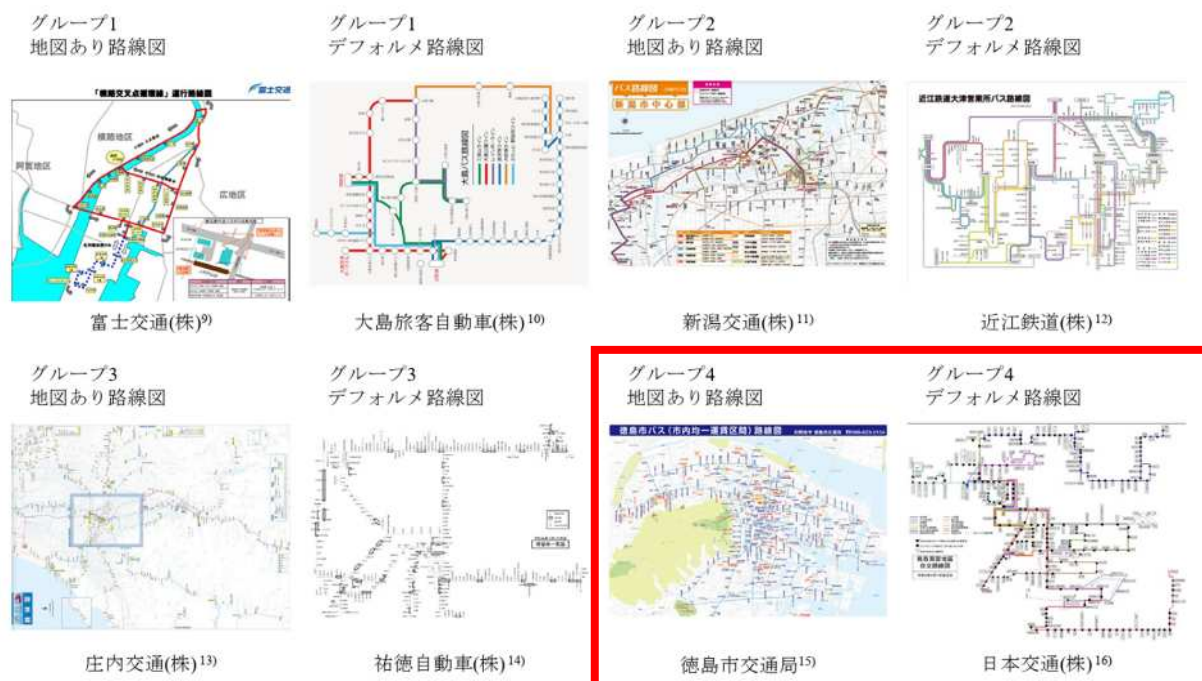


図-1 各グループの路線図（一例）

¹ 小谷翔平、三谷泰浩、坂本淳（2022）. 路線網の複雑さに基づくバス路線図のタイプ分類とその評価に関する研究. 土木学会論文集 D3（土木計画），78(5)，I_141-I_150.

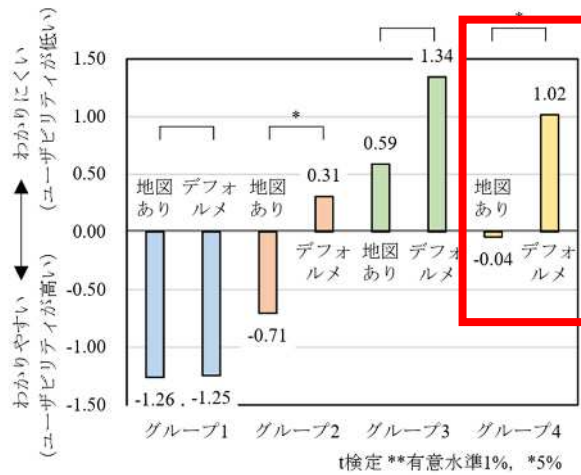


図4 わかりにくさ(非ユーザビリティ)の度合い

図 2.1 交通マップの視認性

(4) 検討結果

検討の結果、方面別カラーの視認性向上を図ること、また、令和8年度に開設予定の岡山市の公共交通に関するポータルサイトにおける活用を考慮し、デフォルトタイプで作成することに決定した。

具体的には、岡山市の御津・建部地域を運行する「御津・建部コミュニティバス」及び足守地域を運行する「足守地域バス」については別図面として、市域北部を図面から省略することで、ルクセンブルクの先進事例を参考に、主要路線網の把握を容易にするデフォルト図面を作成する方針とした。

なお、令和7年12月5日(金)に実施した第4回打合せ協議において、本業務では「公共交通マップの紙面両面における全体構成の最終確定までは求めず、主要な構成要素の配置案作成までを進めること」で双方合意した。

2.2.作成過程

公共交通マップの作成においては、発注者と対面・Web・メール等により適宜打合せを行い、修正を重ねながら進めた。

作成過程において決定したマップの作成方針は以下のとおり。

1. 中心部の路線が表示できるよう、実際の地形をデフォルメ化した形で作成する。
2. 路線は方面別に図 2.2 方面別カラー（GK 設計作成）のとおり色を設定する。（都心部のカラーリングは検討中）
3. バス停名は岡電バスの表示方法を踏襲する。
4. ルクセンブルクの公共交通マップを参考に、図中に系統タグ（路線番号）を表示する。
5. 乗り継ぎポイント、バス停、駅の表現方法は表 2.1 を参照する。（未整備の乗り継ぎポイントは表記しない）
6. 煩雑になるため拡大図に路線番号表記はしない。

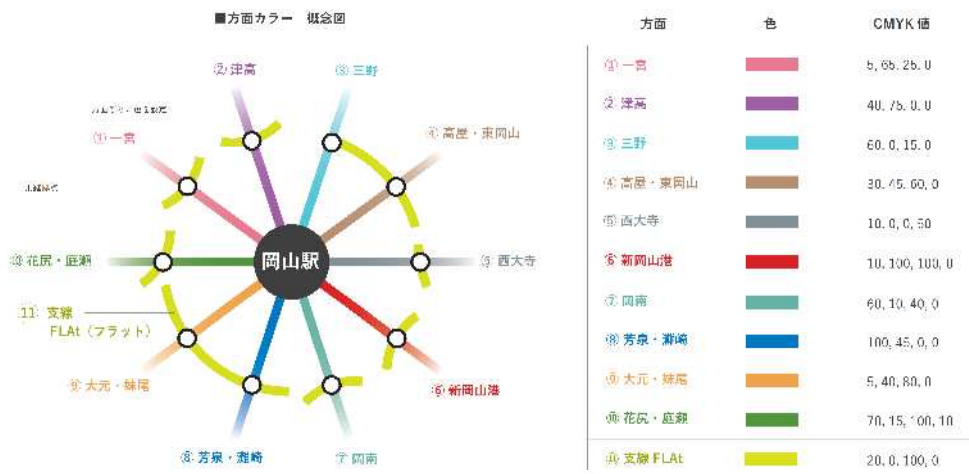


図 2.2 方面別カラー（GK 設計作成）

表 2.1 バス停・駅の表現方法（GK 設計作成）

	バス停	駅
乗り継ぎポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・目印 ・白ベース+黒フチ ・上向き黒フチ ・文字の太さがゴールド ・ボールド （余裕があれば大きく） 	<ul style="list-style-type: none"> ・目印 ・白ベース+黒フチ ・上向き黒フチ ・文字の太さがゴールド ・ボールド （余裕があれば大きく）
起点・終点・経由地となるバス停	<ul style="list-style-type: none"> ・色線に目上黒フチ ・文字の太さがゴールド （余裕があれば大きく） 	<ul style="list-style-type: none"> ・色線に黒フチ、濃灰玉（玉は、発着より大） ・中には白フチあり ・文字の太さがレギュラー
一般	<ul style="list-style-type: none"> ・色線に目上黒フチ ・文字の太さがレギュラー 	<ul style="list-style-type: none"> ・色線に黒フチ、濃灰玉（玉は、発着より大） ・中には白フチあり ・文字の太さがレギュラー

前述した方針に至るまでの作成過程を以下に示す。

(1) デフォルメ化作業における課題と対応

本マップは、実際の地形・路線を簡素化したデフォルメタイプで作成することとしたが、岡山市内の路線網は中心市街地に路線が密集しており、デフォルメ化にあたっては視認性の確保と地理的整合性の両立が課題であった。

具体的には以下の点について試行錯誤を要した。

1) 市中心部の路線の表現方法

中心部では多数の路線が集中するため、広域図では1本線で集約し、別途拡大図を設けることで対応した。

また、当初は中心部の路線は1本線かつ周辺に比べて細い線で表現することとしていたが、中心部も周辺部と同様の太さの線で表現するよう、最終的に調整した。



図 2.3 中心部の作成過程

2) 縁辺部のデフォルメ化作業

北部（御津建部コミュニティバス、足守生活バス）は広域図から省略し別図とする一方、南部の児島半島など縁辺部はデフォルメ化し限られた紙面に情報を収める工夫を重ねた。

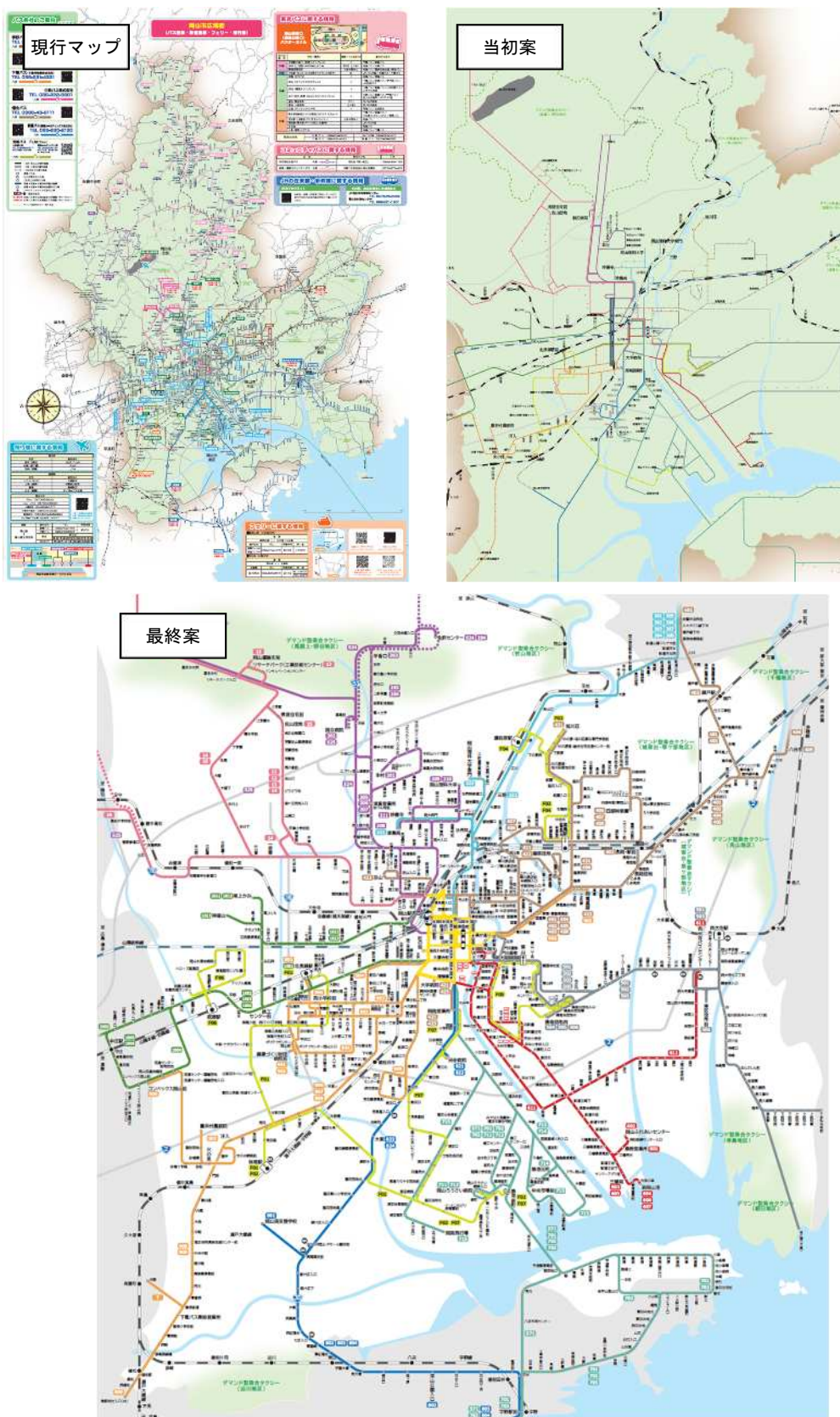


図 2.4 デフォルメ化の過程

3) 路線の単純化

複雑な路線は単純化し、シンプルで視認性の高いマップを作成した。
また、転回方向が分かるように角に丸みを持たせた。

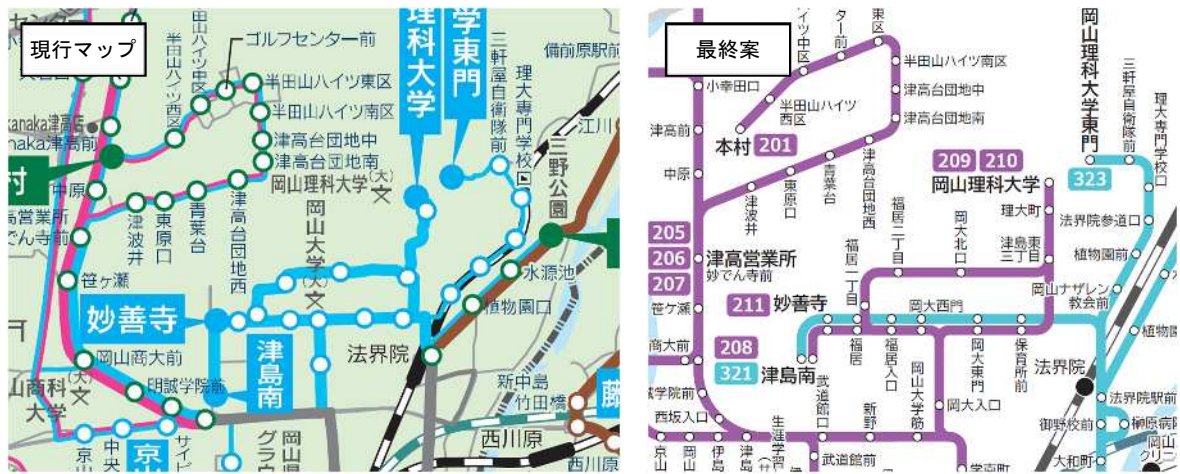


図 2.5 路線の単純化の過程

4) コミュニティバス路線図のデフォルメ化

北部のコミュニティバスは広域路線図から省略し、別途図面を作成した。
その際に、御津建部コミュニティバスと足守生活バス2路線のデフォルメ化を行った。

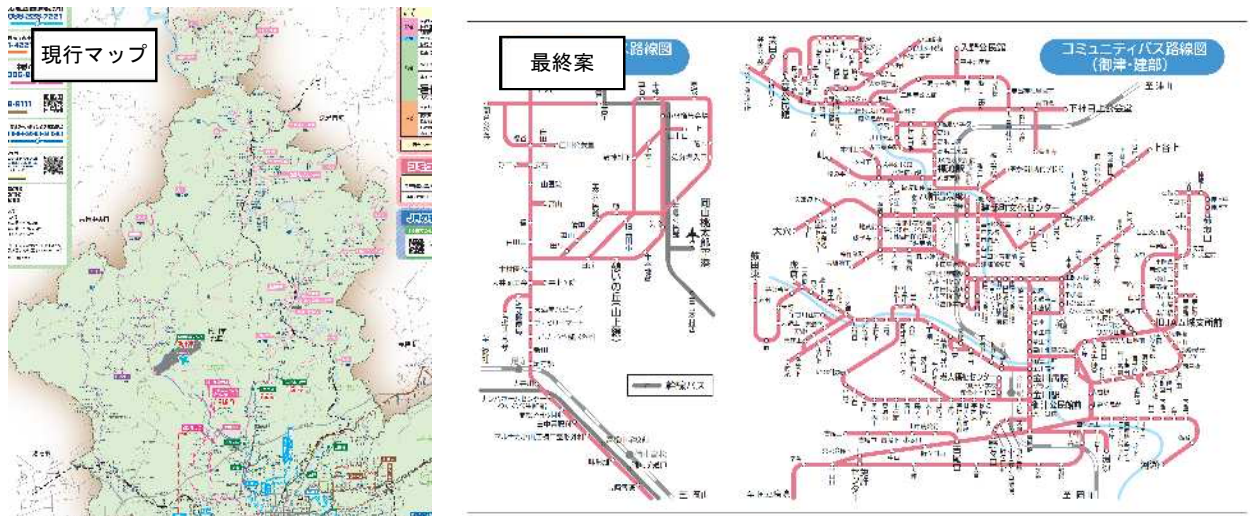


図 2.6 コミュニティバス路線の単純化

(2) 路線索引の作成

方面別のカラーリングに伴い、路線番号表示を行うことで路線の判別をする方針にしたため、膨大な路線情報を表示するための索引を作成した。

なお、本業務履行期間中には路線番号が確定しなかったため、本業務では表現方法の決定までにとどまっている。

⑪ 支線FLAt		⑨ 大元・妹尾方面	
F01 妹尾・北長瀬線	[平日・休日共通]40便 北長瀬駅 — 問屋町南・御南小前・荒田 — 妹尾駅	11 汗入・火の見・重井附属病院・コンベックス線	[平日]00便 [土日祝]00便 天満屋 — 岡山駅東口・大元駅前・汗入 — 火の見
F02 妹尾・岡南線	[平日・休日共通]38便 妹尾駅 — 荒田・高江役所北・岡山ろうさい病院 — 築港新町	11 汗入・火の見・重井附属病院・コンベックス線	[平日]00便 [土日祝]00便 天満屋 — 岡山駅東口・大元駅前・汗入 — コンベックス岡山前
F03 高島・旭川荘線	[平日]26便 [土日祝]10便 高島駅前 — 中井北・下の原 — 旭川荘	11 汗入・火の見・重井附属病院・コンベックス線	[平日]00便 [土日祝]00便 天満屋 — 岡山駅東口・大元駅前・汗入 — 重井附属病院
F04 高島・備前原線	[平日]8便 [土日祝]10便 高島駅前 — 中井北・下の原 — 備前原駅前	13 問屋町入口・健康づくり財団病院線	[平日]00便 [土日祝]00便 天満屋 — 岡山駅東口・大元駅前・問屋町 — 健康づくり財団病院
F05 東山・操南台団地線	[平日]6便 [土日祝]3便 東山 — 操南台団地西・岡山国際ホテル — 東山	23 平田經由北長瀬線	[平日]00便 [土日祝]00便 天満屋 — 岡山駅東口・平田・西小学校 — 北長瀬駅
F06 庭瀬循環線	[平日]00便 [土日祝]00便 岡南営業所 — 日赤病院・高江役所北・岡山ろうさい病院 — 築港新町	33 西小学校線	[平日]00便 [土日祝]00便 岡山駅東口 — 岡山駅東口・野田東 — 西小学校
F07 芳泉・岡南線	[平日]00便 [土日祝]00便 庭瀬駅 — ハローズ庭瀬店・東川尻・川入団地 — 庭瀬駅	101 興除線	[平日]00便 [土日祝]00便 天満屋 — 岡山駅東口・汗入・下電バス興除営業所 — 児島駅
		101 興除線	[平日]00便 [土日祝]00便 天満屋 — 岡山駅東口・汗入 — 下電バス興除営業所
		102 茶屋町線	[平日]00便 [土日祝]00便 倉敷成人病センター — 倉敷駅・茶屋町駅 — 下電バス興除営業所
		102 茶屋町線	[平日]00便 [土日祝]00便 倉敷成人病センター — 倉敷駅・茶屋町駅 — 下電バス興除営業所
		102 茶屋町線	[平日]00便 [土日祝]00便 倉敷成人病センター — 倉敷駅・茶屋町駅 — 下電バス興除営業所
		102 茶屋町線	[平日]00便 [土日祝]00便 倉敷成人病センター — 倉敷駅・茶屋町駅 — 下電バス興除営業所
		102 茶屋町線	[平日]00便 [土日祝]00便 倉敷成人病センター — 倉敷駅・茶屋町駅 — 下電バス興除営業所
		102 茶屋町線	[平日]00便 [土日祝]00便 倉敷成人病センター — 倉敷駅・茶屋町駅 — 下電バス興除営業所
		102 茶屋町線	[平日]00便 [土日祝]00便 倉敷成人病センター — 倉敷駅・茶屋町駅 — 下電バス興除営業所
		102 茶屋町線	[平日]00便 [土日祝]00便 倉敷成人病センター — 倉敷駅・茶屋町駅 — 下電バス興除営業所
		102 茶屋町線	[平日]00便 [土日祝]00便 倉敷成人病センター — 倉敷駅・茶屋町駅 — 下電バス興除営業所
		102 茶屋町線	[平日]00便 [土日祝]00便 倉敷成人病センター — 倉敷駅・茶屋町駅 — 下電バス興除営業所
		102 茶屋町線	[平日]00便 [土日祝]00便 倉敷成人病センター — 倉敷駅・茶屋町駅 — 下電バス興除営業所

図 2.7 路線索引

2.3.最終案

最終的に本業務で作成したマップを次頁に示す。

マップは広域図（路線番号の索引を表記）、拡大図、コミュニティバス路線図（足守生活バス、御津建部コミュニティバス）の3種類と次年度に向けて全体レイアウト案の作成を行った。

2.4.申し送り事項

本公共交通マップ完成のために確認が必要な事項を下表に整理した。

エラー！参照元が見つかりません。及びエラー！参照元が見つかりません。中の番号と下表のNOが対応している。

表 2.2 公共交通マップに関する確認事項

NO	確認事項	回答内容 (空欄は未回答 or 問合せ前)	発注者の 返答状況
5	岡電の表記は(岡山)市役所前だが、そのまま でよいか「岡山市役所前」にするか		再確認
8	不明路線(現公共交通マップに表記あり)宝伝 港行き？	残す(事業者の確認)	保留
9	不明路線(現公共交通マップに表記あり)宝伝 港行き？	残す(事業者の確認)	保留
10	不明路線(現公共交通マップに表記あり)	残す(事業者の確認) 妹尾駅南口を記載する場合には、乗り 継ぎ拠点に南口バス停を表記する	保留
17	足守生活バス・御津建部コミュニティバスは広 域図に一切表示しなくて良いか	点線で表記 ⇒吉備病院は表記するか？	再確認
21	※ 覚え書き(ノンストップバスを表記しない場 合アールを無くす)		保留
22	中心部は修正前(拡大図が最新)		保留
28	下電バス茶屋町線が Excel のバス番号リスト に無いが、削除するのか？		新規確認
29	リサーチパーク(工業技術センター) ※バス停 名の確認		新規確認
30	12(中鉄)バスルート不明 → 13 と同じとし た		新規確認
31	S25(中鉄北部)が高速バス使用(どう表現す るか?) ルートも不明		新規確認
32	205(岡電)のルート不明 → 一番よく通られ る、跨線橋東⇔駅東口⇔天満屋のルートとした		新規確認
33	902(岡電)のルート不明(東古松二丁目~健 康づくり財団病院前の区間)		新規確認
34	505・506(両備)操南台団地というバス停は 無い → 操南台団地西とした		新規確認
35	505(両備)バスルート不明 → 護国神社前ま で 504 と同じ・以降は池の内経由とした		新規確認

NO	確認事項	回答内容 (空欄は未回答 or 問合せ前)	発注者の 返答状況
36	506(両備)バスルート不明 → 504 と同じとした		新規確認
37	吉井川以東のバスルートが Excel のバス番号リストに無い(西大寺方面(両備))		新規確認
38	605(岡電)バスルート不明 → 606 と同じとした		新規確認
39	十字路のバス停の表示方法 (桜橋/新道江崎)これでいいか?		新規確認

その他、本業務内では検討が完了しなかった以下の事項についても検討が必要である。

1. レイアウト案では空白となっている部分を含むマップ全体のレイアウトの検討
2. 御津建部コミュニティバス及び足守生活バスの調整
3. 広域図へ路線番号の反映
4. 広域図の路線索引の完成
5. 拡大図へランドマークの描画
6. 交通事業者へのマップ内容の照会